

科目名	地域福祉論 2 (社会福祉士必修)		
授業形態	講義	学年	2
開講時期	2022 年度 後期	単位数	2
担当教員	久保 美由紀		
内容および計画	この科目は「地域福祉論 1」での学びを前提に、地域包括ケアシステム構築に向けた地域福祉実践にかかわる主体の形成や実践方法、そのあり方に視点をおきながら地域福祉に関する学びを深めていきます。		
1	地域福祉実践を担うさまざまな主体①		
2	地域福祉実践を担うさまざまな主体②		
3	地域福祉実践を担うさまざまな主体③		
4	地域福祉における専門職の役割①		
5	地域福祉における専門職の役割②		
6	地域トータルケアシステムとその構築について①		
7	地域トータルケアシステムとその構築について②		
8	地域トータルケアシステムとその構築について③		
9	地域トータルケアシステムとその構築について④		
10	地域トータルケアシステムとその構築について⑤		
11	地域福祉計画策定の必要性とその方法①		
12	地域福祉計画策定の必要性とその方法②		
13	地域福祉計画策定の必要性とその方法③		
14	地域福祉計画策定の必要性とその方法④		
15	まとめ		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
講義資料を配布します。 学習を進める際の補足として講義中に参考書として紹介するものなどを活用してください。			
参考書	「地域福祉論 1」に同じ。		
成績評価			
	評価方法		割合(%)
	学習成果レポート		80
	小課題レポート		20
学習到達目標	①地域福祉実践を担うさまざまな主体について知る。 ②地域福祉実践における専門職の役割について理解する。 ③地域福祉実践方法について知る。		

先修条件	
実務経験	
その他	「地域福祉論1」履修済みを前提としての内容の部分が多くなります。mustではありませんが、「地域福祉論1」の先修をお勧めします。また、「地域福祉論1」に限らず社会福祉関連の講義科目を履修しているとより理解が深まると思いますので併せてお勧めします。 社会情勢含め、広く「世の中」に関心を向け、目を向けるようにしていただければと思います。